

# 昭和41年調査の概要

## どこを（調査場所）



## いつ（調査期間）

昭和41(1966)年4月4日～10日

## だれが（調査した人）

立教大学

## 調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ242番 1

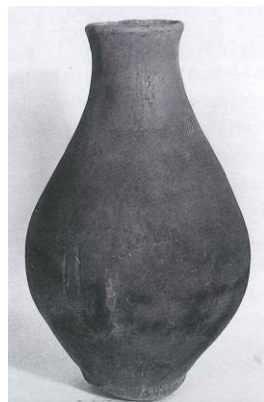
調査面積 80㎡

調査原因 学術調査

主な遺構 住居址15軒

主な遺物 弥生土器片・壺形土器・深鉢形土器・鉢形土器・磨製石斧・有舌尖頭器・青銅断片・砥石・土錘

特記事項 狭い調査範囲の中で15軒の住居址が重複して検出された。完全な形での住居址はないが、長茎9.6mの扁楕円形や直径3.8mの不整の円形など住居址の大きさや形、壁溝の有無、炉址の位置など様々な住居址が検出された。これらの住居址からは宮ノ台式土器や久ヶ原式土器が出土しているが、完形ないし復原できた土器は4点である。また、採集された約10点ほどの石器類は、宮ノ台式土器に伴うものである。（参考文献：『立教大学博物館研究 No.13・1967年』）



出土した甕形土器(左)と壺形土器(右)

(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第2集』・1992年3月)



当時の調査風景

(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第2集』・1992年3月)